

進む円高 景気後退の懸念！



先日、進路支援員の唐澤さんに新たに開拓いただいた企業に、生徒が見学に行きたいと申し出てきたため会社に連絡を取ると、「9月までは仕事が増え景気も回復してきたように見えたが、ここに来て急に仕事が無くなり、月金は休業にせざるを得ない状況になってきたため、しばらく求人を見合わせたい」とのお返事を頂きました。これまで懸念していた景気の二番底がいよいよ始まりつつあるように思われます。

経済の専門家達が盛んに今後急激な円高が進むと懸念していたことが最近少しずつ進行しています。今年の4月頃は1\$100円くらいであったものが、最近再び円高となり始め現在は84円くらいにまでなっています。一部の専門家の間では将来的には50円くらいまでいくのではとさえ言われています。勿論どこまで円高になるかは何とも分かりませんが、せっかく立ち直りつつあるかに見えた日本の経済も、もしこれ以上円高が進めば壊滅的影響を受けるでしょう。すでに就職が決まった生徒も採用取り消しという事態もあり得ます。会社の倒産という事態も有り得るかもしれません。

果たして景気の二番底は来るのか？、来るとすればどの程度の影響が出るのか、心配となります。今世界の経済状況は予断の許さない状況にあります。皆さんも自分に関わることとして少しこれからの経済の動きに注目してみましょう。経済の動きを見るときに素人にも比較的分かり易い指標は、株価や円・ドルの為替相場を見ているとその動きの一端が見えてきます。円高になれば（円の値段が下がっていけば）日本の景気は落ち込んでいきます。



読むことと考えること

定期テストも終わり、気持ちも少しゆったりしている頃と思います。まだ進路が決まらない人も大分いますが、人生の新しい節目を前にして、卒業までの比較的ゆったりとした期間、自分のこれからの生き方を考えてみることは必要のように思います。だからといっていきなりそのような大それたことを考えようとしても難しいでしょう。そこで是非卒業までに本を読んで欲しいものです。小説でもよいしもう少し社会性のある本を読んでもよいですが、何かこれからの自分の人生を考えるのに指針となるような本を読んで欲しいものです。

私も若い頃読んだ本で自分の人生に大きな影響を与えたものが何冊かあります。本は、自分では経験できない様々なことが綴られています。そうしたことを知り自分の世界が広げられることはしばしばあります。最近ではテレビ等映像文化の普及により読書がおっくうに感ずる人も少なくありませんが、本は自分で興味のあるものを時を選ばず幅広い中から自らの意志で選ぶことが出来ます。

また本を読み感動したり感銘を受けたことを読み流すだけではなく、読みながら自分のこととして受けとめ考えながら想像力をふくらませて読むことにより、その内容がより生かされます。精神的にも純粋な若い青春時代に感動を覚えた本はきっと皆さんの心の肥やしとして、これからの人生の中で生きる力となっていくものと思います。

卒業までに皆さんの心の琴線に触れるようなよい本に巡り会われることを願っています。